

TOMOKO

山口県議会議員 高井ともこ 県政レポート



令和4年6月定例議会 一般質問

- ・ 地域防災力の強化について
- ・ アウトドアスポーツツーリズムの推進について
- ・ 次世代モビリティサービスの推進について
- ・ 県内中小企業のイノベーション創出について
- ・ 文化観光の推進について
- ・ 野生鳥獣被害防止活動の推進に向けたジビエの振興について

～PROFILE～

- 1968年8月12日京都市伏見生まれ
- 京都文教短期大学児童教育学科
幼児教育学科 卒業
株式会社モリタ製作所 財務部経理課5年間勤務
- 1994年 京都より夫の故郷 宇部市西岐波に移住
- 2000年 東岐波磯地に家を見て転居
- 2006年 結婚式場アテンダントリーダー4年
- 2010年 同式場スナップカメラマン9年
- 2019年 宇部市議会議員初当選
- 2022年 県議会議員初当選 現在に至る



みなさまの心に寄り添って、県政に届けます！

6月定例議会

6月8日～6月24日に行われた定例議会の一般質問より抜粋したものを掲載しております。詳細につきましては山口県議会のホームページより本会議の議事録をご覧ください。



6月17日 一般質問に回答する村岡知事

Q1 地域防災力の強化について

南海トラフ地震発生の切迫性は高まっており、各市町を後押しすることが県全体の地域防災力を高めるために必要です。今後の大規模災害に備えるため、地域防災力の強化にどのように取り組まれるのか伺います。

A. 「共助」の力を高めるとともに 災害に強いまちづくりを

近年、全国的に自然災害が頻発化・激甚化する中、県民の命と暮らしを守るためには、地域住民で助け合う「共助」の力を高めるとともに、地域の被害軽減に資する「災害に強いまちづくり」を進めることで、地域防災力を強化していくことが重要です。

このため、県では市町と連携し、「共助」の核となる自主防災組織に、防災士が多くを占める県の自主防災アドバイザーを派遣し、必要な指導・助言を行うことで、組織の活性化を図るとともに、拡張現実機器を用いた小学校での体験学習の実施など、低年齢層への防災意識の啓発に取り組んでいます。

また、住宅等の耐震化、避難場所や避難路、延焼防止帯の効果も期待できる公園や道路等の整備などにより、災害に強いまちづくりを進めているところです。

こうした中、お示しのとおり、切迫性が指摘されている南海トラフを震源とする地震や記録的な集中豪雨等により、甚大な災害の発生が懸念されていることから、ソフト・ハード両面にわたる防災対策の充実を図る必要があります。

まず、ソフト面においては、自主防災アドバイザーを対象に毎年実施しているスキルアップ研修において、より具体的な地域課題への対応を取り入れるなど、

内容の充実を図り、自主防災組織に対する地域の実情に即した適切な指導・助言につなげていきます。また、依然として若い世代の防災意識が低いことから、子供たちが自然災害に対する正しい知識を備え、かけがえのない命を守り、自助・共助の心を育むことができるよう、可能へな限り多くの子供に様々な防災体験学習の機会を確保するなど、学校と連携した防災教育を一層充実させます。

次に、ハード面においては、広域的な防災力強化の観点から、公園や港湾等の広域輸送拠点や、緊急輸送道路ネットワークの整備等を進めていきます。

また、市町が主体的に取り組む災害に強いまちづくりに向けた施設整備を進めるに当たっては、国の支援制度に関する情報提供や、地域の実情に応じた助言を適宜、適切に行うこととしています。

県としては、引き続き、市町ともしつかりと連携しながら、ソフト・ハード両面にわたる防災対策を推進し、地域防災力の強化に積極的に取り組んでまいります。

ひとこと：県議会議員になって初めての登壇は、やはりとんでもなく緊張しました。傍聴の為ご来庁して下さった皆様、インターネットにアクセスして下さった皆様、テレビや新聞での登壇を気にかけてくださる皆様、本当にありがとうございます！これからも皆様の心に寄り添い、皆様のお声を県に届けられる議員として頑張ります！



Q2 県内中小企業のイノベーション創出について

地域の強みや特性を活かした多様なイノベーション創出に向け取組を強化してもらいたい。県内中小企業のイノベーション創出に向け、どのように取り組んでいかれるのか所見を伺います。

A. 関係機関が持つ力を結集し 全力で取り組んでいく

本県の活力の源である強い産業をつくるため、「産業イノベーション戦略」において、医療、環境・エネルギー、宇宙等を重点成長分野と設定し、産学公金連携の下、積極的な取組を進めてきたところです。具体的には、県産業技術センターに「イノベーション推進センター」や「宇宙データ利用推進センター」を設置して支援体制を整備するとともに、研究開発のフェーズや規模に応じたシームレスな補助制度により、企業の研究開発を支援しています。

これまでの支援により、再生医療向け細胞組織冷凍保存用フリーザーや、水素ボイラー搭載型貯湯ユニットなど、医療、環境・エネルギー関連分野などにおいて、120件を超える事業化が実現するなど、多くの成果が生まれてきたところです。

こうした中、先般公表された、国の骨太の方針では、官と民が協力して、科学技術・イノベーションやグリーントランスフォーメーションなどに計画的・重点的に投資することとされています。

こうした国の動きと呼応しながら、本県においても、大胆な投資やイノベーション創出につながる企業の果敢な挑戦を、これまで以上に力強く後押しする考えです。

まず、医療分野では、山口大学を中心として、最先端のがん免疫細胞療法や細胞培養関連技術など、再生医療・細胞療法に関する研究開発が進展しており、これらの研究開発の実用化、産業化の取組を通じて、本県における再生医療関連産業の育成・集積を進めてまいります。

次に、環境・エネルギー分野では、省エネに資する半導体用基板の高熱伝導技術やガラス用透明遮熱塗料の開発などの取組が進められているところであり、こうした脱炭素化に向けた研究開発の加速化や地域での事業化を図ってまいります。

さらに、宇宙分野では、宇宙データ利用推進センターを核として、県内企業等による衛星データの活用や解析技術、ソリューション開発を支援し、森林情報、

防災、農業など様々な分野に応用する研究開発や事業化を促進してまいります。

また、こうした成長分野の持続的なイノベーション創出に向けた取組は、企業や大学との連携はもとより、宇部市のスタートアップ支援や、ときわ公園実証フィールド活用プロジェクトなど、意欲的な市町の取組と協働することで、より強力に推進できるものと考えております。

Q3 文化観光の推進について

県内にも世界に誇れる文化財や美術作品等が多数あり、こうした地域の貴重な文化資源を観光に活かしていくことが重要です。そこで本県特有の文化資源を観光資源として活用していくことについて、どのように取り組むのか伺います。

A. 多彩な文化資源を観光振興に 活用し積極的に取り組んでいく

旅行者のニーズが多様化する中、本県の多彩で魅力ある文化資源を観光振興に活用する文化観光の取組を推進していくことが重要です。このため、文化資源を活かした大内塗体験等の観光素材の開発を支援するとともに、県内各地の文化施設等を巡るスタンプラリーを実施するなど、文化観光スポットの周遊促進に取り組んでいるところです。

また、県立美術館においては、浮世絵や萩焼などの収蔵品をデジタル化し、関連する観光情報と併せ、インターネット上の仮想美術館で公開するなど、美術作品を観光素材として活用する取組を進めています。

こうした取組に加え、本年10月、県内外の伝統芸能団体が一堂に会する地域伝統芸能全国大会を本県で開催し、本県の自然や歴史、文化遺産等を紹介する映像の上映や、観光PRコーナーの設置などにより、多くの来場者の県内観光周遊を促進することとしています。さらに、無形文化財である「鷺流狂言」を題材にAIを活用したゲーム性のある体験コンテンツを制作し、県内の文化施設にその体験コーナーを設置するとともに、周辺の文化スポットと併せて観光案内アプリへ掲載し、誘客促進につなげていきます。

県としては、今後とも、市町や関係団体等とも緊密に連携し、本県の多彩な文化資源を観光振興に活用する文化観光の推進に積極的に取り組んでまいります。

2022年活動写真館

様々な活動の中から掲載可能なものを取り上げております。
Facebookページ
<https://www.facebook.com/tomoko.takai.77>

特集 まちじゅうエヴァンゲリオン



宇部市制施行100周年を記念し、令和3年12月から令和4年5月までの間、宇部市出身の庵野秀明氏の作品の1つであるエヴァンゲリオンとコラボしたまちじゅうエヴァンゲリオン。スタンプラリーをはじめ、グルメフェアやフィギュア展など様々な企画イベントが市内各地で開催されました。大好評のうちに終了した第1弾に引き続き、この夏、「まちじゅうエヴァンゲリオン第2弾」が開催され、(期間は令和4年7月8日(金)～9月4日(日)まで)多くの学生や社会人の方達が夏休みを利用し宇部を訪れました。7月2日、山口宇部空港に設置された約3メートルのエヴァ初号機。新川まつりで開催した庵野秀明ファンクラブ(仮)のブレイクストームングで宇部市民の皆さんから沢山のご要望のあったもので、民意が活かされ嬉しかったです。7月7日、市内巡回バスめぐり～な1台がエヴァンゲリオンラッピングバスとして登場。エヴァグルメのお店も増え、ときわ湖水ホールでは、ふしぎの海のナディア展が開催されました。



3月17日、ときわミュージアムにて、第1弾で開催された「海洋堂エヴァンゲリオンフィギュアワールド」では海洋堂フィギュアミュージアム黒壁と連携した、エヴァンゲリオンのジオラマ及びヒューマンスケールを含むフィギュアが展示されていました。

視察 文教警察委員会

総合交通センター・山口県立山口松風館高等学校



7月19日、文教警察委員会メンバーで視察に行っていました。総合交通センターでは高齢者交通安全対策についての説明を受け、実技として試験コースを走らせていただきました。松風館高等学校では、柔軟な教育システムを持つ定時制・通信制高校の取組についてうかがいました。



完成 宇部市役所新庁舎1期棟

新庁舎完成記念式典・館内見学



3月12日、宇部市役所の新庁舎完成記念式典に出席させていただきました。式典の後には、館内の視察をさせていただきました。



コンパクトながらも、使い勝手の良さがギュッと詰まった庁舎となっていました。議会の傍聴席が議会席と驚くほど近く、カジュアルでスタイリッシュになっており、議会をより身近に感じていただける仕様となっていました。

(写真上)北側玄関前にて
(写真下)篠崎市長、チョーコクンと市長室にて

その他 東奔西走活動コーナー



6月12日キワ・ラ・ビーチ海岸清掃



9月11日 グランドフィッシングフェスタ小野にご招待いただき、ご挨拶させていただきました。



7月28日コミスクシンポジウム(万倉)



9月1日 ミズベリング会議



～ ちょっと一息～

クローバーにカタバミ。
この季節、さり気なく野に咲く花たちに癒されます。実はなんと！小野の和紙で出来ています。

発行：高井ともこ事務所
〒755-0153
山口県宇部市床波5丁目10番1号
TEL & FAX 0836-52-7722
mail: t.takai.a.office@gmail.com